

山梨ジュエリーミュージアム コレクション展

山梨ジュエリーミュージアム コレクション展では、2013年のミュージアム開館を記念して制作された、オリジナルデザインのジュエリーを紹介しています。これらのジュエリーは、デザイナーたちそれぞれのテーマによってデザインされている一方、どのジュエリーにもジュエリー産業を支える職人技への敬意が込められています。山梨ジュエリー産業界の全面的な協力の下、生み出されたジュエリーの世界をご覧ください。

開催期間／～6月12日(月)
観覧料／無料



「天狗の葉団扇と紫水晶」
デザイン:関戸和代
制作:清水幸雄((株)シミズ貴石)
深澤利彦(鋳工房深澤)



「Tube Band Ring」
デザイン:高橋杏奈
制作:(株)石友



「心」
デザイン:小澤寿子
制作:小澤忠弘
((有)ジュエリーワーク)

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

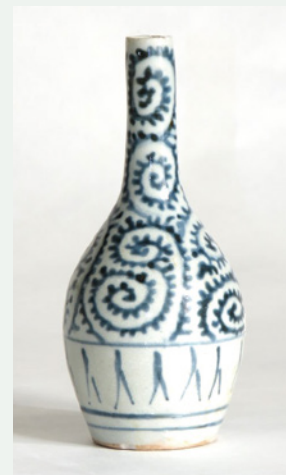
春季企画展 「甲府城下町の賑わい」

甲府城下町遺跡は、甲府城を中心とした武家屋敷などを含む江戸時代の遺跡で、これまでに60カ所以上の地点で発掘調査が行われてきました。近年では、甲府駅周辺の開発に伴い、甲府城や武家屋敷地の変遷が明らかになっているほか、町人地では金生産の関連資料など、当時の賑わいをほうふつとさせる発見も相次いでいます。本展では近年の出土品を総括的に紹介し、近世甲府の歴史に迫ります。

開催期間／4月22日(土)～6月11日(日)
観覧料／無料



金が付着したふいご羽口 江戸時代
(甲府城下町遺跡)



磁器徳利 江戸時代
(甲府城下町遺跡)

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

サイエン旬「アニマルトラッキング入門」

フィールドに残る痕跡から野生動物の生態を知る方法を、パネルで紹介します。動物たちが何を食べてどのような生活をしているのか、その暮らしぶりが見えてきます。自然・動物写真家の外川英樹氏によるギャラリートークも行います。



樹洞から顔を出して外の様子うかがうムササビ

展示期間／～4月23日(日) メインエントランス
トーク開催日／4月2日(日)、4月16日(日) ①午前11時～②午後2時～
観覧料／入館料のみ

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

富士山科学講座

富士山の自然、自然と人との関わりについて、研究成果を分かりやすく学べる全6回の連続講座です。4月は「水系」、5月は「地形と地質」、6月は「草原」をテーマとし、開催します。



昨年度の講演の様子

開催日／4月15日(土)、5月13日(土)、6月10日(土)
開催時間／午後1時30分～3時
参加料／無料



県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 ブータン しあわせに生きるためのヒント

ブータン王国はヒマラヤ山脈の南にあり、未開の自然が残る豊かな国です。2005年の国勢調査では国民の約97%が「幸せ」と回答し、世界が驚きました。彼らの幸福感は、人々が信仰するブータン仏教、豊かな自然環境、国民の王室に対する厚い信頼と尊敬の念と、密接な関わりがあるのかもしれませんが。本展では、日本初公開を含む貴重な資料の数々により、幸せの国の根源となる伝統文化や思想に迫ります。

開催期間／3月18日(土)～5月15日(月)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



グルパドマサンパヴァ坐像 16世紀
(ブータン王国国立博物館蔵)



女性用衣装(キラ) 20世紀後期
(ブータン王立テキスタイルアカデミー蔵)

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

特別展 バロックの巨匠たち ルーベンス、レンブラント、ベラスケスと栄光の時代

西洋美術の歴史の中でも、名だたる巨匠たちが登場したバロック期。写実的な描写と明暗法を特徴とするバロック絵画の様式は16世紀末から18世紀初頭、ヨーロッパ各地に広がりました。

本展では、ヨハネ・パウロ2世美術館、プラハ国立美術館、シャルトル会修道院美術館が所蔵する絵画44点を展示します。ルーベンス、レンブラント、プリュージェル兄弟、ヴァン・ダイク、ベラスケス、ムリーリョといった巨匠たちが描き出した華麗なるバロックの世界を、ご堪能ください。

開催期間／4月15日(土)～6月11日(日)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



アンソニー・ヴァン・ダイク《エジプトへの逃避途上の休息》
(ヨハネ・パウロ2世美術館蔵) ©Museum John Paul II Collection

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

特設展 「^{ぼつ}歿後50年 山本周五郎展」

大月市初狩町出身の小説家・山本周五郎(1903～1967年)は、「赤ひげ診療譚」「^{しんりょうたん}縦ノ木は残った」など人間への温かいまなざしと洞察力で、今もなお多くの読者の支持を得ています。本展では、代表作「青べか物語」や絶筆「^{おごそかな}おごそかな湯き」の原稿、親友に宛てた長文の手紙、映画化された作品「椿三十郎」「さぶ」のポスターなど約80点の資料を通し、周五郎の63年の生涯と作品の魅力を紹介します。

開催期間／4月29日(土・祝)～6月18日(日)
観覧料／一般320円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



絶筆となった「おごそかな湯き」第8回原稿(山梨県立文学館蔵)



「明和絵暦」1997(平成9)年3月
新潮文庫
甲斐国に生まれた儒学者・山梨大式を主人公とした作品